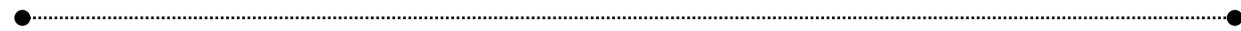


平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	第2回まつもと市民会議「考えよう松本の賑わいづくり」
事業主体 (連絡先)	まつもと市民会議実行委員会 事務局 渡邊幸夫 〒390-0821 松本市筑摩 2-27-9
事業区分	(1) 地域協働の推進に関する事業 (8) 地域の特色、個性を活かした産業振興に資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,210,673円 (うち支援金: 612,000円)



事業内容

- コンパクトシティにおける歩いて行ける街の魅力づくりを官民協働で、延べ104名で3つのワークショップを実施。
- 第2回まつもと市民会議「考えよう松本の賑わいづくり」フォーラムを開催。参加者130名。
 - 1) WSの研究発表
 - ・WS1「歩く喜びをデザインしてみよう～歩きたくなる仕掛けづくり～」
 - ・WS2「街ナカ×30分～まちなかで30分つぶすには～」
 - ・WS3「音を楽しむ人々が集う街を目指して」
 - 2) WS発表者と市民とのタウンミーティング



【フォーラム会場写真】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① コンパクトシティにおける歩いて行ける街の魅力づくりに関しては、従来からある観光資源を活かしながら「歩くこと＝ウォーキング」での新しい賑わいづくりを提案出来た。
- ② 中心市街地の賑わいづくりと新しい街づかいに関しては、「音楽・水・公園・空地など」を活用した街づかいが提案出来た。
- ③ ワークショップ開催を通じ、松本市職員との協働作業を通じ、事業推進が図られた。

- 【目標・ねらい】
- ① コンパクトシティにおける歩いて行ける街の魅力づくり
 - ② 中心市街地の賑わいづくりと新しい街づかいの提案
 - ③ 官民協働による事業推進
 - ④ UDによる街づくり

※自己評価【 B 】

【理由】
産官学民が協働した街づくり提案を通じ、次年度テーマの実現に向け参加団体の合意形成が出来た。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- ① WSで提案された3つの課題の実施に向け、その実施組織の立ち上げと資金の手当てを検討する。
- ② 3つの課題実現には、地元商店街や自治体を含めた多くの組織団体との合意形成を目指す。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
 「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた
 「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある